

### ビジョンの検証や進行管理は



中嶋文雄議員

Fumio Nakajima

【答弁】 中間年の34年度に成果を検証します

【問】 今、農林業は従事者の高齢化や後継者不足等により、厳しい経営環境下にあります。そんな中で、寄居町農林業振興ビジョンの策定に着手したことは「元気いっばいの農林業を次世代につなぐ」ための第一歩として期待されます。

【答】 今年度は、平成27年度から大字赤浜区内で実施している旧塚田土地改良区に加え、新たに花園橋東側の通称「下耕地」でも農地中間管理事業を開始する予定です。これにより、担い手への農地の集積・集約化や耕作放棄地の減少などに役立つと期待します。

【問】 中山間地域の農業振興はどのように行いますか。

【答】 新たな担い手として、「明日の担い手育成塾」「農業実践講座」「農業ふれあい講座」等を通じて、定年就農者や新規就農者等の多様な担い手により振興を図ります。

【問】 林業について、利用可能な林齢に達している森林の伐採が進まず、荒廃した山林が多くなっています。林業の振興はどのように行いますか。

【答】 「伐って、使って、植えて、育てる」の森林の循環を促進し、森の若返りの推進に取り組みます。公共施設の建築や改築は、地元産木材の使用について検討します。

【問】 林業について、利用可能な林齢に達している森林の伐採が進まず、荒廃した山林が多くなっています。林業の振興はどのように行いますか。

【答】 「伐って、使って、植えて、育てる」の森林の循環を促進し、森の若返りの推進に取り組みます。公共施設の建築や改築は、地元産木材の使用について検討します。



塚田地区の農地中間管理事業は約6.7haで実施



台風時に増水した荒川。早めの避難情報で大雨への備えを

### タイムライン策定

【問】 タイムライン(事前防災行動計画)とは、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、防災行動を事前に時系列で整理した計画です。国・地方公共団体・企業・住民等が連携してタイムラインを策定することにより、災害時に連携した対応を行うことができます。町独自のタイムライン策定の考えを伺います。

【答】 現在、町では河川のうち荒川について水位に基づくタイムラインを整備していますが、それ以外の町独自のタイムラインは策定していません。今後、他の防災機関とも協力し研究していきます。

【問】 DIG(災害図上訓練)やHUG(避難所運営ゲーム)を避難所となる小中学校で実施し、地域と学校が事前の防災協議をする考えはありますか。

【答】 現在進めている防災訓練の課題、問題点を整理・検討した上で、今後研究していきます。

### 地域防災の担い手づくりを

【問】 防災士資格補助制度の実施と、防災士活用について伺います。

【答】 防災士のさらなる活用を含めて研究していきます。

【問】 小中学生向けの宿泊防災訓練やバーチャル防災訓練など、新しい形の防災訓練の考えはありますか。

【答】 宿泊訓練については今後、地域と連携をとりながら考えていきます。平成27年度からは、総合防災訓練をより実践的な地域防災訓練に移行しており、その効果や検証の後、今後の訓練を定めていきます。

### 時系列の防災行動計画策定を



鈴木詠子議員

Eiko Suzuki

【答弁】 防災機関と協力して研究します

### ハイキングコースに案内看板を



大澤博議員

Hiroshi Osawa

【答弁】 わかりやすい表示を研究します

### 公衆トイレの設置

【問】 町には、里山の展望と荒川の水辺を生かしたハイキングコースが設定され、四季をとおして多くの方が訪れます。また、町では「プラス1000歩運動(\*3)」を実施しています。訪れた人や町民から「公衆トイレを設置してほしい」との声があります。町のハイキングコース地図には、公衆トイレ場所の記載はありますが、案内看板ではどうなのか伺います。

【答】 公共施設や観光施設の敷地などに設置した周辺案内看板で、観光トイレ等の位置案内をしています。

【問】 ハイキング男衾コースでは、男衾駅以外に公衆トイレがありません。男衾コースは起伏も少なく、車イスでの散策も可能です。今市の地藏堂付近にトイレを設置し、散策できるコースにしたいと考えますが、町の考えを伺います。

【答】 観光トイレの設置については、需要や必要性、維持管理の面から慎重に対応したいと考えています。提案の場所への設置は現時点では考えていません。

【問】 観光トイレの設置については、需要や必要性、維持管理の面から慎重に対応したいと考えています。提案の場所への設置は現時点では考えていません。

### 「町民協力トイレ」の考えは

【問】 町内の住宅には、戸外にトイレがあるところがあります。トイレの使用に協力をいただき、訪れた人が誰でも気軽に利用できる「町民協力トイレ」ができないか、町の考えを伺います。

【答】 個人の敷地に立ち入るため、防犯上の問題が生じる恐れがあり、町民協力トイレの設置は考えていません。



男衾自然公園は仮設トイレで対応しているが...



雑木もよいが、玉淀には桜が似合うのでは

### 「名勝玉淀」の再生

【問】 玉淀河原では、堤の桜と同様に雑木も寿命がきていると思われます。町有地の雑木を伐採し、公募していただれ桜の成木を植栽することについて伺います。

【答】 雑木は、新緑や紅葉と四季折々に目を楽しませ、夏場は木陰をつくっています。名勝玉淀の重要な要素なので、倒木の恐れなど現状把握に努め、対応を検討します。また、桜の名所を計画的に整備するよう提言もあり、観光振興の観点から、場所や効果的な方法を検討したいと考えています。

【問】 河原へ降りる階段東側の公有地化は。

【答】 28年に町有地化した土地は、親水広場として整備を進めています。整備後、利用状況等を検証し、次の事業展開を図る必要があることから、現在は質問にあった土地の取得は考えていません。

### 玉淀河原の駐車有料化は

【問】 かわせみ河原と同様に有料駐車とする考えはありますか。

【答】 かわせみ河原では、ごみ処理対策の環境美化協力金の徴収を開始。玉淀河原はゴールデンウィークや水天宮祭後にまとまった量のごみが放置されますが、切迫した状況ではありません。駐車スペースは狭小の上、遊歩道の整備計画で台数が限定されるので、有料化は考えていません。

【問】 玉淀駅のトイレ改修の進捗状況は。

【答】 東武鉄道に確認したところ、駅構内とトイレのバリアフリー化に向けて準備中で、12月中旬から工事着手する予定と伺っています。

### しだれ桜の成木を植えては



石井康二議員

Kouji Ishii

【答弁】 観光振興に効果的な場所を検討します

【\*3】 プラス1000歩運動...ふだんの歩数より1000歩多く歩くことで、健康づくりを図る事業。県が推奨する「健康長寿埼玉モデル」の一環で、寄居町では平成27年度から実施し、平成29年度は約1000人の取り組みを目指しています。

【\*2】 農地中間管理事業...農地中間管理機構が農地の所有者から農地を借り受け、地域で農地の借受けを希望する者を公募し、応募した者の中から適切な貸付相手方を選定し、まとまりのある形で農地を利用できるように配慮して貸付ける事業です。